

2018年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 政治学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  ボローニャ大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年9月24日 ～ 2019年5月16日 出国日 2018年9月1日 最終帰国日 2019年7月25日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

結局、東アジアに直接的に関わる授業は取ることができなかったので、ヨーロッパから見た東アジアをアカデミックな部分からみる、ということはあまりできませんでした。しかしながら、履修、聴講した授業を通して断片的ながら示唆に富んだ知見をえることができたのではないかと感じています。また、ヨーロッパの学生は概して議論好きであり、彼らの世界の見方を知れたという点でも有意義だったと思います。

### (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

もう少し、日本に対する知識をつけて渡航すればよかったと感じました。特に日本のマンガを読んで育ったヨーロッパ人は想像以上に多いので、ドラゴンボール、進撃の巨人など有名どころのマンガを多少は読んでいけばよかったと思っています。他に、村上春樹の小説、大まかな日本の歴史なども目を通しておくといいのではと思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

想像していた以上に日本の大学に近いです。「白熱教室」のようになることは全くないとは言えないものの、ほとんどありませんでした。ただし、日本と違い、授業に進行中に質問す

る学生は多いです。もちろん授業後でも、教授は質問に応じてくれます。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

長い歴史を持つ大学のキャンパスなので、率直なところあまりきれいではないです。設備も老朽化しているように見え、学生が使えるパソコンもかなり古いものです。壊れている椅子も見受けられます。ただし、ボローニャ大学の授業は町中の建物で行われるので、印象は場所により大きく異なります。大学の Wi-Fi は概ね良好につながります。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

CLA と呼ばれるボローニャ大学の外国語センターが、留学生向けにイタリア語の授業を開講しています。ただし受講には、ボローニャで行われる口頭テストを含むクラス分けのためのテストを事前に受ける必要があります。秋学期に履修を希望する場合には、授業が始まる前にボローニャに到着している必要があります。テストの日程は先着順であり、日本からの留学生で CLA の科目を履修している人は春学期に履修している人が多かったようにみえます。交換留学生は最初に受ける学期のみ無料で受けることができます。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

ボローニャ大学の International Desk は、月水金の 10 時から 12 時と火木の 14 時 30 分から 16 時までしか空いておらず、短い開室時間に多くの学生（おそらく数千人単位で）が殺到するため（特に学期の開始時期）、大学からのサポートはあまり期待できないでしょう。バディ制度も私の知る限りはありません。

10 月中旬に Welcome day なる、留学生の歓迎イベントが開かれていましたが、アクティビティやボランティア団体の紹介などが主で、留学生同士が交流するような場ではありませんでした。

Camplus の寮に住むのであれば、生活面及び学習面でのサポートを受けられます。

Erasmus Student Network(ESN) Bologna という団体があり、留学生による旅行やパーティーなどをオーガナイズしているようなので、興味があれば参加してみるといいかもしれません。会員になれば Ryan Air の割引が受けられるなどの特典もあります。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

おそらくありません。

### (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

ボローニャは比較的治安のよい都市であり、治安について過度な不安を持つ必要はないと思います。結果的に私は、留学中一度もスリや危険な目に遭遇したことはなかったです。

一般的には、混雑したバスの中、中央駅周辺、モンタニョーラ公園、大学地区が治安の

悪い地区として知られています。バスの中や中央駅周辺はスリ、モンタニョーラ公園は不良、大学地区は酔っ払いの学生が多いと言われているようです。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

### (6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Introduction to Italian Culture 1 (6)	
Introduction to Italian Culture 2 (6)	
Laboratory: Geopolitics, Finance for International Cooperation and instruments (4)	

## 3. 宿舎について

### (1) 種類

大学の寮 (Camplus Bononia)

### (2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1280 ユーロ、(日本円) 約 155000 円

### (3) 食事

食事付き (㊸・昼・㊹) 日曜日を除く

### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩またはバス 20-30 分程度

### (5) 感想、良かった点・悪かった点

他に選択肢がなかったのでやむをえず Camplus Bononia の寮を選びましたが、やはり食費が込みとはいえこの寮費は高すぎると感じます。

良かった点としては、学生が食堂で一緒に食事をするので、友達を作るきっかけになることでしょうか。私自身、スペインに旅行した際に同じ寮のスペイン人の実家に泊めてもらいました。私が留学した年度は、秋学期・春学期ともに 10 名程度の留学生在滞しており、そこでは英語が使われました。

一緒に毎日夕食を食べるということは、ある意味で諸刃の剣です。一人で (≒外国語から離れて) 夕食を食べられないというのは、ときに負担に感じることもありました。

## 4. 費用について

### (1) 学 費

交換留学のためボローニャ大学への学費の支払いはなし

## (2) 渡航方法と金額

往路 タイ国際航空 バンコク経由ミラノ行き 約 10 万円

復路 エミレーツ航空 ボローニャ発ドバイ経由 約 7 万円

## (3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 1600 ユーロ、(日本円) 約 200000 円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

## (4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード クレジットカード 国際ブランドプリペイドカード  
現金 その他 ( )

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

羽田空港で 300 ユーロ程度両替したほかは、VISA のデビットカードとクレジットカードを使用していました。

Visa Paywave などの非接触決済が日常的に使われているので、ひとつ対応したカードを持っていくと買い物の際に暗証番号を打つ必要がなく、便利だと思います。

iPhone を使っている人なら、マスターカードを apple pay に登録すると、スマートフォンで支払いができます。

## (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳 寮費

## 5. 保険について

### (1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険

### (2) 保険料

182090 円

### (3) 加入した保険の種類、内容

傷害死亡：1000 万円

傷害後遺障害：3000 万円

疾病死亡：1000 万円

治療・救援費用：1 億円

賠償責任長期（自己負担額なし）：1 億円

生活用動産長期用（自己負担額なし）：150 万円

手荷物遅延費用（実損払型）：10 万円

航空機遅延費用（実損払型）：2 万円

弁護士費用：100 万円

テロ等対応費用：1 万円

緊急一時帰国：100 万円

応急治療・救援費用：なし

歯科治療費用\*\*：10 万円

#### (4) 感想、良かった点・悪かった点

トルコなどを含む広い意味でのヨーロッパにいる限り保障の対象だったので、イタリア国外へ旅行するときの保険もカバーされていたのはよかったです。

保険は、結果的に一度も使いませんでした。

### 6. 荷物について

#### (1) 荷物の送付方法

往路 手荷物のみ

復路 手荷物+郵便（郵便局で日本へ荷物を送りたいと言ったら、「早くて高い」便と「遅くて安い」便があると言われ、遅くて安い便を選択しました。安い方の場合は上限が20kgまでのようです。私は20kg分送り、90ユーロでした。遅い便と言われましたが、結果的には一週間程度で東京の自宅に到着しました。）

日本からイタリアへは、可能であればすべて手荷物で持っていくことをお勧めします。宅配にかなり時間がかかったり、税関で荷物をあけられ関税をかけられたりするという話を聞きました。ターキッシュエアラインズなど、航空会社によっては、エコノミークラスであっても23kgの荷物を2つ預けられます。

#### (2) 持って行って良かったと思う物

携帯型ウォシュレット

#### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

電子辞書（語学の授業をとるならあってもいいかも） スーツ 乾電池

#### (4) 持って行けば良かったと思う物

日本食 特に冷たい緑茶のパック

浴衣

### 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

#### (1) 平日

授業や図書館。夕食後、遊びに行くこともありました。

#### (2) 週末

Ryan Air や Flix Bus 等の格安な交通手段が発達しているので、よく旅行に行きました。

### 8. 後輩へのアドバイス等

よく言われることですが、大変なこともあったけれど、過ぎてしまえばみんな良い思い出です。良くも悪くも、日本人の留学生も比較的多い大学なので、留学の心理的なハードルは比較的低いのではないかと思います。総合的にみて、私は留学に満足しています。

ポローニャ大学は、留学生の数がとても多い大学なので、ごく初歩的なイタリア語さえできれば、あとは英語だけで生活することもできる留学先です。私は、英語に頼り切ってしまい（と

いっても英語もそんなにできないんですが…) ました。英語だけでもなんとかなりますが、やはりイタリア語ができると別の世界が見えると思うので、それはやはり反省点です。

日本人の留学生が多いだけに、日本人同士の距離感の取り方は少し難しいかもしれません。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

グーグル検索などで「〇〇大学 留学 ブログ」などのワードで検索すると、留学の経験や体験記を書いているブログにヒットします。より詳しく知りたい方は、ぜひ検索してみてください。留学生はブログを書いている人が多いので、ボローニャ大学ではないほかの大学を検討中の人にもおすすめです。